



# サーバのオペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストール

---

この章は、次の項で構成されています。

- [オペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストール方法, 1 ページ](#)
- [KVM コンソール, 2 ページ](#)
- [PXE インストールサーバ, 5 ページ](#)
- [ホストイメージマッピング, 7 ページ](#)

## オペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストール方法

E シリーズサーバおよびNCEは複数のオペレーティングシステムとハイパーバイザをサポートします。インストールされるプラットフォームに関係なく、次のいずれかのツールを使用してサーバにインストールできます。

- KVM コンソール
- PXE インストールサーバ
- ホストイメージマッピング



注意

---

仮想ドライブをマップするには1種類だけを使用する必要があります。たとえば、KVM コンソールまたはHost Image Mappingのいずれかを使用します。組み合わせて使用すると、サーバが未定義の状態になります。

---

## KVM コンソール

KVM コンソールは CIMC からアクセス可能なインターフェイスであり、サーバへのキーボード、ビデオ、マウスの直接接続をエミュレートします。KVM コンソールを使用すると、リモートの場合からサーバに接続できます。サーバに物理的に接続された CD/DVD ドライブまたはフロッピー ドライブを使用する代わりに、KVM コンソールは仮想メディアを使用します。これは、仮想 CD/DVD ドライブまたはフロッピー ドライブにマップされる実際のディスク ドライブまたはディスク イメージ ファイルです。次のいずれでも仮想ドライブにマップできます。

- コンピュータ上の CD/DVD またはフロッピー ドライブ
- コンピュータ上のディスク イメージ ファイル (ISO または IMG ファイル)
- コンピュータ上の USB フラッシュ ドライブ

KVM コンソールを使用して、サーバにオペレーティング システムまたはハイパーバイザをインストールし、次の作業を行うことができます。

- ブートアップ中に F2 を押して、BIOS セットアップ メニューにアクセスします。
- ブートアップ中に F8 を押して、CIMC Configuration Utility にアクセスします。



(注) CIMC Configuration Utility は EHWIC E シリーズ NCE および NIM E シリーズ NCE には適用されません。

- Cisco UCS M1 および M2 サーバの場合は、ブートアップ中に Ctrl+H を押し、WebBIOS にアクセスして RAID を設定します。

Cisco UCS M3 サーバの場合は、ブートアップ中に Ctrl+R を押し、MegaRAID コントローラにアクセスして RAID を設定します。



(注) RAID は EHWIC E シリーズ NCE および NIM E シリーズ NCE ではサポートされていません。これらの SKU では、Ctrl+H および Ctrl+R は機能しません。

### KVM コンソールを起動するための Java 要件

KVM コンソールを起動するためには、システムにリリース 1.6 以降の Java をインストールしておく必要があります。

証明書が Java で取り消されたために KVM コンソールが起動しない場合は、Java の設定を変更する必要があります。次の手順を実行します。

- 1 Java コントロール パネルにアクセスします。
- 2 [Advanced] タブをクリックします。

- 3 [Perform certificate revocation on] で、[Do not check (not recommended)] ラジオ ボタンを選択します。詳細については、[http://www.java.com/en/download/help/revocation\\_options.xml](http://www.java.com/en/download/help/revocation_options.xml)を参照してください。

## KVMコンソールを使用したオペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストール

### はじめる前に

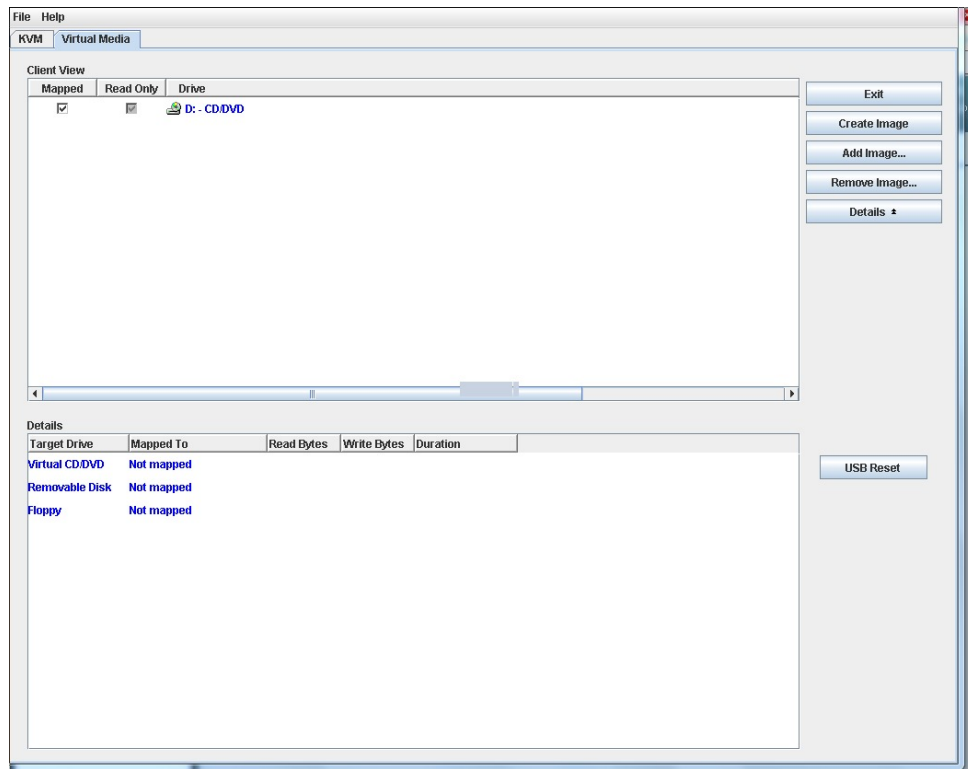
オペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストールディスクまたはディスクイメージファイルの場所を特定します。



- (注) VMware vSphere Hypervisor ではカスタマイズしたイメージが必要です。カスタマイズされたイメージをダウンロードするには、[カスタマイズされた VMware vSphere Hypervisor イメージのダウンロード](#)、(6 ページ) を参照してください。

### 手順

- ステップ 1 オペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストールディスクを CD/DVD ドライブにロードするか、ディスク イメージファイルをコンピュータにコピーします。
- ステップ 2 CIMC が開いていない場合は、CIMC GUI にログインします。
- ステップ 3 [Navigation] ペインの [Server] メニューをクリックします。
- ステップ 4 作業ウィンドウの [Host Image Mapping] タブをクリックします。
- ステップ 5 [Actions] 領域から、[Launch KVM Console] をクリックします。  
[KVM Console] が別ウィンドウで開きます。
- ステップ 6 KVM コンソールから、[Virtual Media] タブをクリックします。



**ステップ 7** [Virtual Media] タブで、次のいずれかの方法を使用して仮想メディアをマップします。

- オペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストール ディスクが含まれている CD/DVD ドライブの [Mapped] チェックボックスをオンにします。
- [Add Image] をクリックし、オペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストール ディスク イメージに移動してこれを選択します。[Open] をクリックしてディスク イメージをマウントし、マウントされたディスク イメージの [Mapped] チェックボックスをオンにします。

(注) インストールプロセスの実行中は、[Virtual Media] タブを開いたままにしておく必要があります。このタブを閉じると、すべての仮想メディアのマップが解除されます。

**ステップ 8** 仮想 CD/DVD ドライブがブート デバイスになるように、ブート順を設定します。

**ステップ 9** サーバをリブートします。

サーバを再起動すると、仮想 CD/DVD ドライブからインストールプロセスが開始します。残りのインストールプロセスについては、インストールしているプラットフォームのインストール ショーガイドを参照してください。

**ステップ 10** オペレーティングシステムまたはハイパーバイザをインストールした後にディスク ドライブが表示されない場合は、ドライバをインストールする必要があります。ドライバのインストール手順については、該当するオペレーティング システムまたはハイパーバイザのマニュアルを参照してください。

Microsoft Windows オペレーティング システムへのドライバのインストール手順については、[Microsoft Windows Server 用のドライバのインストール](#)を参照してください。

### 次の作業

インストールが完了したら、仮想メディアのブート順を元の設定にリセットします。

## PXE インストール サーバ

Preboot Execution Environment (PXE) インストール サーバを使用すると、クライアントはリモートの場所からオペレーティング システムまたはハイパーバイザをブートおよびインストールできます。この方法を使用するには、PXE 環境が設定されていて、VLAN (通常は専用のプロビジョニング VLAN) で使用できるようになっている必要があります。さらに、サーバがネットワークからブートするように設定されている必要があります。サーバは、ブートすると、PXE 要求をネットワーク経由で送信します。PXE インストール サーバは、この要求に応答確認し、サーバにオペレーティング システムまたはハイパーバイザをインストールするイベントのシーケンスを開始します。

PXE サーバは、インストールディスク、ディスクイメージ、またはスクリプトを使用して、オペレーティング システムまたはハイパーバイザをインストールできます。また、独自のディスクイメージを使用して、プラットフォーム、追加コンポーネント、またはアプリケーションをインストールすることもできます。



(注) PXE インストールは、多数のサーバにプラットフォームをインストールする場合に効率のよい方法です。ただし、この方法を使用するには PXE 環境をセットアップする必要があることを考えると、他のインストール方法を使用する方が簡単な場合があります。

## PXE インストールサーバを使用したオペレーティング システムまたはハイパーバイザのインストール

### はじめる前に

VLAN 経由でサーバに到達できることを確認します。



(注) VMware vSphere Hypervisor ではカスタマイズしたイメージが必要です。カスタマイズされたイメージをダウンロードするには、[カスタマイズされた VMware vSphere Hypervisor イメージのダウンロード](#)、(6 ページ) を参照してください。

## 手順

**ステップ 1** ブート順を [PXE] に設定します。

**ステップ 2** サーバをリブートします。

**注意** 共有 LOM インターフェイスを使用して CIMC にアクセスしている場合は、サーバのリブートプロセス中に CIMC GUI を使用しないでください。CIMC GUI を使用すると、イーサネットポートに設定されていた IP アドレスがブートエージェントによってオーバーライドされるため、PXE のインストール中に GUI の接続が解除されます。

VLAN で PXE インストールサーバを使用できる場合は、サーバが再起動するとインストールプロセスが開始します。通常、PXE インストールは自動化されており、追加のユーザ入力を必要としません。残りのインストールプロセスについては、インストールしているオペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストールガイドを参照してください。

## 次の作業

インストールが完了したら、LAN のブート順を元の設定にリセットします。

# カスタマイズされた VMware vSphere Hypervisor イメージのダウンロード

## 手順

**ステップ 1** <https://my.vmware.com/web/vmware/login> にアクセスします。

VMware ログイン ページが表示されます。

**ステップ 2** 自分の VMware クレデンシャルを入力し、[Log In] をクリックします。

VMware のアカウントがない場合は、[Register] をクリックして無料アカウントを作成します。

**ステップ 3** [Downloads] をクリックし、ドロップダウン リストから [All Products] を選択します。

**ステップ 4** 必要に応じて、次のいずれかを実行します。

- VMware vSphere Hypervisor 5.1 イメージをダウンロードするには、[Search] フィールドで ESXi-5.1.0-799733-custom-Cisco-2.1.0.3.iso と入力し、[Search] アイコンをクリックします。[Search Results] から [VMware vSphere] > [Drivers & Tools] > [Cisco Custom Image for ESXi 5.1.0 GA Install CD] をクリックし、[Download] をクリックします。
- VMware vSphere Hypervisor 5.5 イメージをダウンロードするには、[Search] フィールドで ESXi-5.5.0-1331820-custom-Cisco-5.5.0.1.iso と入力し、[Search] アイコンをクリックします。[Search Results] から [VMware vSphere] > [Drivers & Tools] > [CISCO Custom Image for ESXi 5.5.0 GA Install CD] をクリックし、[Download] をクリックします。

### 次の作業

VMware vSphere Hypervisor のイメージをインストールします。

## ホストイメージマッピング

ホストイメージマッピング機能を使用すると、ホストイメージのダウンロード、マッピング、マッピング解除、または削除を行うことができます。Microsoft Windows、Linux、VMware などのホストイメージを、リモート FTP または HTTP サーバから CIMC 内部リポジトリにダウンロードしてから、E シリーズサーバまたは NCE 内の USB コントローラの仮想ドライブにマップします。イメージをマップした後は、イメージをマウントした仮想ドライブが最初のブートデバイスになるようにブート順序を設定してから、サーバをリブートします。ホストイメージはファイル拡張子として .iso または .img がなければなりません。

また、ホストイメージマッピング機能により、診断イメージをダウンロードし、マウントできます。診断イメージのファイル拡張子は必ず .diag になります。

## ホストイメージのマッピング

### はじめる前に

- admin 権限を持つユーザとして CIMC にログインします。
- 適切なサードパーティからホストイメージファイルを取得します。



(注) VMware vSphere Hypervisor ではカスタマイズしたイメージが必要です。カスタマイズされたイメージをダウンロードするには、[カスタマイズされた VMware vSphere Hypervisor イメージのダウンロード](#)、(6 ページ) を参照してください。



(注) アップデートがすでに処理中であるときにイメージアップデートを開始すると、どちらのアップデートも失敗します。

### 手順

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Compute] メニューをクリックします。
- ステップ 2 作業ウィンドウの [Host Image Mapping] タブをクリックします。
- ステップ 3 [Host Image Mapping] ページで、[Add Image] をクリックします。  
[Add New Mapping] ダイアログボックスが表示されます。次のフィールドに入力します。

名前	説明
[Server Type] ドロップダウン リスト	<p>イメージが配置されているリモートサーバのタイプ。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• FTP</li> <li>• FTPS</li> <li>• HTTP</li> <li>• HTTPS</li> </ul> <p>(注) 選択したリモートサーバによって、表示されるフィールドが変わります。</p>
[Server IP Address] フィールド	<p>リモート FTP または HTTP サーバの IP アドレス。</p>
[File Path] フィールド	<p>リモート FTP または HTTP サーバのパスおよびファイル名。パスワードには、最大 80 文字を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ホストイメージをインストールする場合、そのイメージのファイル拡張子は必ず <code>.iso</code> または <code>.img</code> になります。</li> <li>• 診断イメージをインストールする場合、そのイメージのファイル拡張子は必ず <code>.diag</code> になります。</li> </ul>
[Username] フィールド	<p>リモート サーバのユーザ名。</p> <p>ユーザ名は 1~20 文字の範囲で指定します。</p> <p>(注) ユーザ名を設定しない場合は、ユーザ名として <code>anonymous</code> を入力し、パスワードとして任意の文字を入力します。</p>
[Password] フィールド	<p>ユーザ名のパスワード。</p> <p>パスワードは 1~20 文字の範囲で指定します。</p> <p>(注) ユーザ名を設定しない場合は、ユーザ名として <code>anonymous</code> を入力し、パスワードとして任意の文字を入力します。</p>

**ステップ 4** [Download] をクリックします。  
 [Host Image Mapping] ページが開きます。[Host Image Mapping Status] 領域で、イメージダウンロードのステータスを表示できます。イメージが正常にダウンロードされ、処理された後、ページがリフレッシュされます。ページがリフレッシュされた後、新しいイメージが [Image Information] 領域に表示されます。

**ステップ 5** [Image Information] 領域で、マップするイメージを選択し、[Map Selected Image] をクリックします。



イメージがマップされ、USB コントローラの仮想ドライブにマウントされます。仮想ドライブには、次のいずれかを使用できます。

- HDD : ハードディスク ドライブ
- FDD : フロッピー ディスク ドライブ
- CD/DVD : ブート可能 CD-ROM または DVD ドライブ

**ステップ 6** イメージがマウントされている仮想ドライブが最初のブートデバイスになるように、ブート順を設定します。

ヒント イメージがどの仮想ドライブにマウントされているか確認するには、[Host Image Mapping] ページの [Host Image Update Status] 領域を参照してください。

**ステップ 7** サーバをリブートします。

**ステップ 8** イメージにアンサーファイルが含まれている場合、オペレーティングシステムまたはハイパーバイザのインストールは自動化され、イメージがインストールされます。そうでない場合は、インストールウィザードが表示されます。ウィザードの手順に従って、イメージをインストールします。

**ステップ 9** オペレーティングシステムまたはハイパーバイザをインストールした後にディスクドライブが表示されない場合は、ドライブをインストールする必要があります。ドライブのインストール手順については、該当するオペレーティングシステムまたはハイパーバイザのマニュアルを参照してください。

---

### 次の作業

- インストールが完了したら、仮想メディアのブート順を元の設定にリセットします。

## ホストイメージのマッピング解除

### はじめる前に

admin 権限を持つユーザとして CIMC にログインします。

### 手順

---

**ステップ 1** [Navigation] ペインの [Compute] メニューをクリックします。

**ステップ 2** 作業ウィンドウの [Host Image Mapping] タブをクリックします。

**ステップ 3** 作業ウィンドウの [Host Image Mapping] タブをクリックします。

**ステップ 4** [Unmap Image] をクリックします。

USB コントローラの仮想ドライブから、マップされたイメージがアンマウントされます。

---

## ホストイメージの削除

### はじめる前に

admin 権限を持つユーザとして CIMC にログインします。

### 手順

---

- ステップ 1 [Navigation] ペインの [Compute] メニューをクリックします。
  - ステップ 2 作業ウィンドウの [Host Image Mapping] タブをクリックします。
  - ステップ 3 [Current Mappings Information] 領域で、削除するイメージを選択します。
  - ステップ 4 [Delete Selected Image] をクリックします。  
イメージが SD カードから削除されます。
-